

鷹野 光行 / TAKANO, Mitsuyuki

文化科学系 / 文教育学部人間社会科学科

<http://www.li.ocha.ac.jp/hss/edusci/takano/index.html>

■ 研究者情報

連絡先

東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学博物館学研究室
Email: takano.mitsuyuki@ocha.ac.jp / TEL: 03-5978-5255 / FAX: 同左

専門分野

日本考古学 博物館学

■ 研究成果情報

生涯学習時代における博物館と人材養成

キーワード

生涯学習 博物館 学芸員 ミュージアム・マネージメント

研究内容

■ 概要（背景・目的・内容）

お茶の水女子大学に着任以来、学芸員養成課程を担当し、学芸員を目指す学生達の教育に当たってきた。

博物館学概論などの講義にとどまらず、実習の指導も行っている。有用な学芸員の有資格者を育てていくにはどのような教育内容が求められるのか、これは終わりのない課題である。そしてその前に学芸員とはどういう存在であるのか、役割は、必要な資質は、等の諸課題が追求されていかなければならない。

学芸員の役割が追求されると同時に、博物館そのものの役割・課題の研究も必要になる。

■ プロセス・研究事例

研究の一例を挙げる。学芸員の活躍の場を広げる一つの試みとして、学校博物館の存在に注目し、学校教育の中で博物館をより活用するために司書教諭と並んで「学芸教諭」の創設を提案した。まず学校博物館の実態を関東各県などにおいて調査した(鷹野・青木・浜田・松崎・下湯「学校博物館の現状と今後の可能性(予察)ー学芸教諭の誕生に向けてー」全博協紀要10 2008.3)。共通する現状について、博物館に理解のある、あるいは熱心に取り組もうとする教諭が在任しているときは学校博物館も良く活用されるが、そうでないと単なる物置になってしまっていた。



学内実習風景

特許・著作物等の知財情報、製品化情報、あるいは社会貢献実績

- ・『博物館学特論』(2010.5、慶友社)
- ・『博物館で学ぶ』(2010.9、監訳、同成社)
- ・『新編博物館概論』(2011.3、共著、同成社)
- ・独立行政法人国立教育政策研究所社会教育実践研究センターにおける「博物館長研修」の講師(平成21年度～)
- ・市川市立博物館協議会委員、杉並区立郷土博物館運営協議会委員、など

産学官・社会連携の可能性

- 公開講座、ワークショップ等の実施
 - 出版
 - その他
- を通じて知見の教授・共有が可能である